

ポジティブ・インパクト・ファイナンス

モニタリング結果

(2025年1月1日～2025年12月31日)

2026年1月30日

今次モニタリングのポイント

当行は、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、「PIF」といいます）の取り扱いを2023年6月1日より開始しました。開始に際しては、当行のPIF評価実施体制がPIF原則に適合している旨のセカンドオピニオンを、株式会社格付投資情報センターより取得しています。

取り扱い開始以降、今次モニタリングの基準日である2025年12月末までに36先に対してPIFを実行しました。なお、個別の案件において設定するKPIおよび目標等のPIF原則への適合性は当行自身が確認しています。

今次モニタリング対象20先で確認したKPI・目標は以下の通りです。

	項目数	目標達成率※
ポジティブインパクト (PI)	80	82%
ネガティブインパクト (NI)	84	80%

※目標達成率：定性的な目標や、目標値の期限未到来の項目を除く

次頁以降に以下の項目の通りモニタリング結果を詳述しますのでご参照ください。

- ✓モニタリング対象抽出・目標達成率算定の考え方について (P.2)
- ✓今次モニタリング対象先のインパクトカテゴリー別KPI・目標設定状況 (P.3)
- ✓モニタリング結果：目標達成率 (P.4)
- ✓ご参考：モニタリング結果 内訳（ポジティブインパクト） (P.5)
- ✓ご参考：モニタリング結果 内訳（ネガティブインパクト） (P.6)

モニタリング対象抽出・目標達成率算定の考え方について

- モニタリングの対象は、原則として「モニタリング基準日までにPIF実行後1年経過した先」としています。また、あるPIF実行先に対して追加でPIFを実行する場合、初回実行より1年末経過であっても、既存の目標・KPIの進捗を確認しているため、これもモニタリング対象としています（以下、「追加実行した先」といいます）。今次モニタリング基準日は2025年12月末となります。
- KPI・目標の設定状況に応じて目標達成状況の判定を行い、目標達成率を算定しています（詳細は下図赤枠をご参照ください）。

当行が実行したPIF全先

モニタリング実施対象

「モニタリング基準日までにPIF実行後1年経過した先」または「追加実行した先」

定量目標

設定した目標を達成していたもの
(目標には最終目標だけでなくマイルストーン目標も含む)

設定した目標を達成していなかったもの

設定した目標期限が到来していないもの等
(例 : 2030年CO₂排出量 基準年比▲50%)

定性目標

KPI未設定で目標が定性的なもの等

判定

達成…①

未達…②

未済

定性

今次モニタリング対象

今次モニタリングの
目標達成率算定対象

$$\text{目標達成率} = \frac{\textcircled{1}}{(\textcircled{1} + \textcircled{2})}$$

モニタリング時に
進捗をヒアリング
(目標達成率算定対象外)

今次モニタリング対象先のインパクトカテゴリー別KPI・目標設定状況

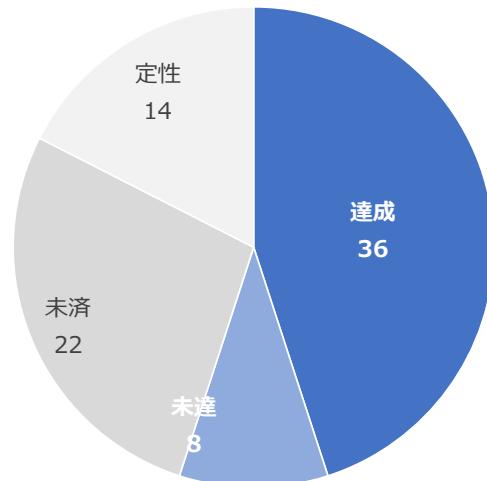
- モニタリング基準日現在におけるPIF実行先36先のインパクトカテゴリー別のKPI・目標の設定状況は下表のとおりです。全体で、ポジティブインパクト（PI）に係るKPI・目標が149項目、ネガティブインパクト（NI）に係るKPI・目標が148項目となっています。
- このうち、今次モニタリング対象20先については、PIに係るKPI・目標が80項目（全体の54%）、NIに係るKPI・目標が84項目（全体の57%）でした。

	インパクトカテゴリー	合計	ポジティブインパクト（PI）		ネガティブインパクト（NI）		
			モニタリング対象	モニタリング対象外	合計	モニタリング対象	モニタリング対象外
社会 入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（一連の固有の特徴がニーズを満たす程度）	① 水	1	0	1	0	0	0
	② 食糧	3	0	3	0	0	0
	③ 住居	2	2	0	1	1	0
	④ 健康・衛生	11	5	6	3	0	3
	⑤ 教育	5	1	4	0	0	0
	⑥ 雇用	49	32	17	43	26	17
	⑦ エネルギー	6	3	3	5	4	1
	⑧ 移動手段	5	3	2	3	2	1
	⑨ 情報	5	1	4	0	0	0
	⑩ 文化・伝統	5	2	3	1	1	0
	⑪ 人格と人の安全保障	1	1	0	0	0	0
	⑫ 正義	1	1	0	0	0	0
	⑬ 強固な制度・平和・安定	0	0	0	0	0	0
	社会 計	94	51	43	56	34	22
環境 質（物理的・化学的構成・性質）の有効利用	⑭ 水（質）	2	1	1	3	2	1
	⑮ 大気	3	1	2	4	1	3
	⑯ 土壌	1	1	0	4	2	2
	⑰ 生物多様性と生態系サービス	1	1	0	0	0	0
	⑱ 資源効率・安全性	15	6	9	30	14	16
	⑲ 気候	6	4	2	36	17	19
	⑳ 廃棄物	3	3	0	8	7	1
	環境 計	31	17	14	85	43	42
経済 人と社会のための経済的価値創造	㉑ 包摂的で健全な経済	16	10	6	7	7	0
	㉒ 経済収束	8	2	6	0	0	0
	経済 計	24	12	12	7	7	0
	合計	149	80	69	148	84	64

複数のインパクトカテゴリーを対象として、あるいはPI/NI双方に紐づくものとして、ひとつの目標を設定することもあります（項目数としては重複カウントしています）

モニタリング結果：目標達成率

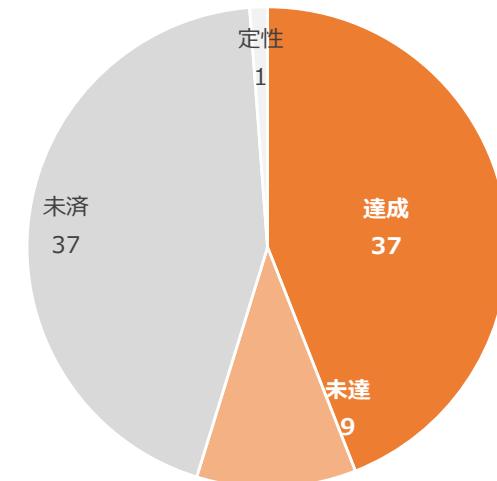
- ・KPI・目標については、「女性管理職比率」や「CO₂排出量削減」などを設定する案件が見られました。今次は、モニタリング対象20先合計でPI : 80項目、NI : 84項目のKPI・目標を確認しました。
- ・定性的な目標や、目標値の期限未到来の項目を除いた目標達成率は、ポジティブインパクト（PI）に係る項目で82%（44項目中36項目達成）、ネガティブインパクト（NI）に係る項目で80%（46項目中37項目達成）、全体で81%（90項目中73項目達成）でした。
- ・なお、目標の達成・未達成に関わらず、すべての項目で要因を確認しております。また、定性目標を設定している場合など、目標達成率算定対象外の項目についても、お客様へのヒアリングを通じて取り組みの高度化などの進捗を確認しています。



ポジティブインパクト（PI）

	達成率	小計		未済	定性	合計
		達成	未達			
社会	77%	20	6	20	5	51
環境	78%	7	2	1	7	17
経済	100%	9	0	1	2	12
合計	82%	44	8	22	14	80

※ 「達成」「未達」「未済」「定性」の考え方についてはP2をご参照



ネガティブインパクト（NI）

	達成率	小計		未済	定性	合計
		達成	未達			
社会	67%	10	5	18	1	34
環境	85%	23	4	16	0	43
経済	100%	4	0	3	0	7
合計	80%	37	9	37	1	84

ご参考：モニタリング結果 内訳（ポジティブインパクト）

- ・ポジティブインパクト（PI）に係るKPI・目標のモニタリング判定の内訳は下表の通りです。

		目標達成率（ポジティブ）							
		インパクトカテゴリー	達成率	達成	未達	小計	未済	定性	合計
社会 入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（一連の固有の特徴がニーズを満たす程度）	① 水	-	0	0	0	0	0	0	1
	② 食糧	-	0	0	0	0	0	0	3
	③ 住居	100%	2	0	2	0	0	0	2
	④ 健康・衛生	100%	3	0	3	1	1	1	11
	⑤ 教育	100%	1	0	1	0	0	0	5
	⑥ 雇用	75%	12	4	16	16	0	49	
	⑦ エネルギー	0%	0	2	2	0	1	6	
	⑧ 移動手段	100%	1	0	1	2	0	5	
	⑨ 情報	-	0	0	0	0	0	1	5
	⑩ 文化・伝統	-	0	0	0	0	0	2	5
	⑪ 人格と人の安全保障	100%	1	0	1	0	0	0	1
	⑫ 正義	-	0	0	0	0	1	0	1
	⑬ 強固な制度・平和・安定	-	0	0	0	0	0	0	0
		社会 計	77%	20	6	26	20	5	94
環境 質（物理的・化学的構成・性質）の有効利用	⑭ 水（質）	-	0	0	0	0	0	1	2
	⑮ 大気	-	0	0	0	0	0	1	3
	⑯ 土壤	-	0	0	0	0	0	1	1
	⑰ 生物多様性と生態系サービス	-	0	0	0	0	0	1	1
	⑱ 資源効率・安全性	100%	4	0	4	1	1	1	15
	⑲ 気候	33%	1	2	3	0	1	6	
	⑳ 廃棄物	100%	2	0	2	0	1	3	
		環境 計	78%	7	2	9	1	7	31
経済 人と社会のための経済的価値創造	㉑ 包摂的で健全な経済	100%	8	0	8	1	1	1	16
	㉒ 経済収束	100%	1	0	1	0	1	1	8
		経済 計	100%	9	0	9	1	2	24
		合計	82%	36	8	44	22	14	149

ご参考：モニタリング結果 内訳（ネガティブインパクト）

- ・ネガティブインパクト（NI）に係るKPI・目標のモニタリング判定の内訳は下表の通りです。

		目標達成率（ネガティブ）							
		インパクトカテゴリー	達成率	達成	未達	小計	未済	定性	合計
社会 入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（一連の固有の特徴がニーズを満たす程度）	① 水	-	0	0	0	0	0	0	0
	② 食糧	-	0	0	0	0	0	0	0
	③ 住居	100%	1	0	1	0	0	0	1
	④ 健康・衛生	-	0	0	0	0	0	0	3
	⑤ 教育	-	0	0	0	0	0	0	0
	⑥ 雇用	73%	8	3	11	15	0	43	
	⑦ エネルギー	33%	1	2	3	1	0	5	
	⑧ 移動手段	-	0	0	0	2	0	3	
	⑨ 情報	-	0	0	0	0	0	0	0
	⑩ 文化・伝統	-	0	0	0	0	0	1	1
	⑪ 人格と人の安全保障	-	0	0	0	0	0	0	0
	⑫ 正義	-	0	0	0	0	0	0	0
	⑬ 強固な制度・平和・安定	-	0	0	0	0	0	0	0
		社会 計	67%	10	5	15	18	1	56
環境 質（物理的・化学的構成・性質）の有効利用	⑭ 水（質）	100%	2	0	2	0	0	0	3
	⑮ 大気	0%	0	1	1	0	0	0	4
	⑯ 土壤	100%	2	0	2	0	0	0	4
	⑰ 生物多様性と生態系サービス	-	0	0	0	0	0	0	0
	⑱ 資源効率・安全性	90%	9	1	10	4	0	30	
	⑲ 気候	67%	4	2	6	11	0	36	
	⑳ 廃棄物	100%	6	0	6	1	0	0	8
		環境 計	85%	23	4	27	16	0	85
経済 人と社会のための経済的価値創造	㉑ 包摂的で健全な経済	100%	4	0	4	3	0	7	
	㉒ 経済収束	-	0	0	0	0	0	0	0
		経済 計	100%	4	0	4	3	0	7
		合計	80%	37	9	46	37	1	148